

Organo de HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

Heroldo de HEL

N-ro 139

Januaro 2012

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

北海道エスペラント連盟

[Enhavo/目次]

- 表紙、Enhavo/目次 P. 1
- JEI団体会員加入についての提案/委員長 横山裕之 P. 2
- 「我が身は炎となりて」をエスペランチストの皆様へ P. 6
/沖縄エスペラント会代表 比嘉康文
- Ĉu "hotaru" (ほたる、蛍) estas "lampiro"?/HOŠIDA Acuŝi P. 7
- Danke ricevitaj -受領郵便物- (星田淳 扱い) P. 9
- Protokolo de la 2-a Komitato Kunsido de HEL P. 12
北海道エスペラント連盟 第2回委員会議事録
- Protokolo de la 10a Kunsido de Loka Kongresa Komitato por
la 99a Japana Esperanto-Kongreso
第99回日本エスペラント大会LKK 第10回会合議事録
- [編集後記/Redaktanto parolas ...] P. 16

Atenton!

同封の返信用ハガキは「JEI団体会員加入についての提案」に対する返事をいただくためのものです。2頁からの提案をよく読んで 2月15日までに投函してください。

J E I 団体会員加入についての提案

委員長 横山裕之

日本エスぺラント学会 (J E I) は、今年4 月、財団法人改革によって一般財団法人日本エスぺラント協会 (略称はJ E I のまま) へ生まれ変わります。詳細はJ E I 会員の方はJ E I 機関誌「La Revuo Orienta」でご承知のことと思います。会員でない方は下記にあるR0誌の掲載記事をご覧ください。

新法人への移行に伴い、会員制度が大きく変わります。もっとも大きな変更は、会員種別に新たに「団体会員 (地域団体、広域団体、専門団体)」が設定されることです。従来の「支部」は廃止されます。

従来、各地のE 団体 (例: 「北海道E 連盟」) や各種専門E 団体 (例: 「E-isto〇〇の会」) は、公式的・制度的にはJ E I と互いに協力し合う関係にはありませんでした。あくまで全国のE-istoが独立して結成し、運営しているもので、J E I は単にその動向を毎年R0誌8 - 9 月号に掲載の「運動年鑑」でJ E I 会員に報告するにとどまっていた。

今回の団体会員制度の発足により、団体会員 (E 団体) が自らJ E I に会費を支払うようになります (団体内のJ E I 個人会員の会費とは別です)。それにより、各団体がJ E I を支える、という構図が明確になります。※ただし、J E I には、諸団体の「連盟」 (上部機構) としてふるまう意図はありません。

団体会員の権利および特典としては、

- ・協議員 (現行の「評議員」に代わるもの) 選挙の選挙権をもつ (規模により複数票)

- ・「La Revuo Orienta」1 部を受け取れる
- ・団体名義で図書を購入する際、10%の割引が受けられる
- ・団体会員である団体に所属する個人会員には、団体所属者割引がある (正会員で400 円安くなる)

といったことが挙げられます。

J E I からH E L に「団体会員加入の方向で検討を」と依頼があり、H E L 委員会は昨年11月、「加入する (会員41 - 100 名の地域団体会員)」という結論を出しました。H E L 連盟規約第4 条 (事業) のC (「国内外のE 団体との共働」) に合致すると考えたためです。

しかし、連盟のありかたに大きくかかわる選択ですので、仮に連盟員の皆様の中に強い異議があれば、総会を経ずに決定するのは無理があります。

そこで、皆様のご意見をうかがうべく、葉書を同封しました。賛成、反対のいずれかに○をつけ、反対の方はその理由をお書きください。反対意見が多ければ、再度委員会で討議し、必要に応じて次回連盟総会に諮ります。また、JEI 会員かどうか葉書でお尋ねいたしますので、Jes かNeのご返事もあわせてお願いします。

葉書は2月15日までに事務局長・川合までお送りください。ご協力をよろしくお願いします。

----- [R0 誌2011年11月号の掲載記事] 35ページ -----

団体会員（会員規程による。R0誌10月号参照）

・2012年1月から新設。今年秋から募集。

なぜ：

(a) いままで公式にはなかった、エスペラント団体とJEI との関係を作り出し、エスペラントの普及に役立てたい。ただし、JEI が諸団体の「連盟」としてふるまう意図はない。(b) いままでの「支部」は、「JEI 本部と連結決算をするような支部」ではなく、「会員が自主的に作った」という位置づけであった。しかし、世間的に「本来の支部＝連結決算対象」と誤認させる恐れがあり、制度としてふさわしくないという文部科学省の指導があり、今後の内閣府でも認められる見込みはない。

・団体会員の条件：目的・事業がJEI と一致。理事会で審査。団体内のJEI 個人会員数。

・種別と年会費など：

種別	規模	会費	協議員選挙の票数	団体内のJEI個人会員数
地域団体, 専門団体	5-10名	年1,000円	1票	3名以上
	11-40名	年2,000円	2票	
	41-100名	年4,000円	3票	
	101名以上	年7,000円	5票	
広域団体	3-10団体	年2,000円	2票	6名以上
	11団体以上	年4,000円	3票	

・特典：・会誌「エスペラント/La Revuo Orienta」の印刷版1部（電子版は無し）

・団体名義での書籍購入：10% 割引（支部の割引と同様）

- ・協議員への選挙権で、規模により複数票。ただし、被選挙権は無い。
- ・この団体に属するJEI 個人会員は、団体所属者割引あり
(正会員会費が400 円安い)。(広域団体に属する団体のJEI

個人会員も可)

- ・従来の支部との差：自ら会費を払う
- ・個人会員へのお願い：安くなった正会員会費の一部を、自団体へ還元してください。

5 人の団体に2000円安くなる → 半額で団体会費が出る。

- ・従来の支部へのお願い：ほとんどの支部が、地方エスペラント会を基盤として
いるので、そこと協議して、団体会員になるよう、お願いします。

-----[RO 誌2011年10月号の掲載記事] 38ページ~39ページ-----

(2011-08-21制定)

一般財団法人 日本エスペラント協会 会員規程

第3章 団体会員

第9条 (団体会員の要件)

団体会員は、次の条件を満たした団体に、本会理事会が承認した団体である。

(1) 団体の目的、事業が本会の目的、事業と合致する地域団体、専門団体、広域団体等の団体であること。

(2) エスペラントに関する1年以上の活動実績があること。

(3) 団体会員の種別に応じて次に示す項目を入会申し込み時と求められた時期に報告すること。

(イ) 地域団体会員および専門団体会員は、責任者、会員数、会員中の本会個人会員3名以上の氏名。

(ロ) 広域団体会員は、責任者、構成団体数、構成団体名、構成団体中の本会個人会員6名以上の氏名。

2 広域団体会員を構成する個々の団体については、本会の個人会員や団体会員が入っているか否かは問わない。

第10条 (団体会員の種別と会費)

団体会員には次の種別を置く。

(1) 地域団体会員および専門団体会員：5名以上から構成される団体である。年会費は、その団体の構成員数に応じて次の通りとする。

5-10名 : 年会費 1,000 円, 11-40 名 : 年会費 2,000 円,
41-100名 : 年会費 4,000 円, 101 名以上 : 年会費 7,000 円,

(2) 広域団体会員：主として3以上のエスペラント団体から構成される団体に

ある。年会費はその団体の構成団体数に応じて次の通りとする。

3-10団体： 年会費 2,000 円, 11団体以上： 年会費 4,000 円

第11条 (退会)

団体会員は、第3条による退会のほか、第9条ないし第10条の要件を満たさなくなった場合、理事会の決議により退会させることができ、この場合も本会が受領した会費は返却しない。

第12条 (団体会員の特典)

団体会員には次の特典がある。

(1) エスペラント学習および普及について、情報提供などの便宜を受ける。

(2) 本会が発行する月刊誌「エスペラント/La Revuo Orienta」印刷版の配布を1部受けることができる。

(3) 代表者(第9条による責任者とは限らない)は本会の会員総会、団体会員連絡会に出席することができる。

(4) 本会協議員に対する選挙権を持つ。被選挙権は持たない。地域および専門団体会員の協議員選挙の投票権は、その団体の構成員数に応じて次の通りとする。

5-10名：1票, 11-40名：2票, 41-100名：3票, 101名以上：5票

広域団体会員の協議員選挙の投票権は、その構成団体数に応じて次の通りとする。

3-10団体：2票, 11団体以上：3票

(5) 本会から図書等を団体名義で購入する場合、図書等の本体価格を10% 割り引く。

2 団体会員およびその構成員は世界エスペラント協会の団体会員としての特典は持たない。

第13条 (団体会員内に所属する本会個人会員についての報告)

団体会員は第5条(5)に規定する団体所属者割引を有効にするため、所属員が本会に入会した場合および該当者がその団体を脱退した場合にはその旨報告する。広域団体会員においては、該当広域団体加盟の団体への所属員も含む。

[同封ハガキの質問事項]

1. 団体会員加入に賛成ですか反対ですか?

(賛成・反対)

反対の場合は、その理由をお聞かせください。

2. JEI 会員ですか?

(Jes・Ne)

「我が身は炎となりて」をエスペ란チストの皆様へ

沖縄エスペラント会代表 比嘉康文

初めまして。小生は2011年10月に「沖縄エスペラント会」を立ち上げました比嘉康文（ひが こうぶん）という者です。比嘉春潮さんが書いた『琉球のエスペラント運動回顧』によると、琉球のエスペラント運動は大正7（1918）年ごろには途絶えており、それ以来のエスペラント会の立ち上げです。だから必ず成功させる決意です。

この度、皆様のご先輩のエスペランチスト・故由比忠之進さんの評伝『わが身は炎となりて』副題「佐藤首相に焼身抗議した由比忠之進とその時代」（新星出版）を上梓いたしました。この本を書いた動機などについて、小生は同書の「プロローグ」に次のように書きました。

「1967年11月11日。その日は、私にとって忘れられない日となっている。自らの生命を表現手段として使うことに疑問を感じないわけではないが、わが身を挺して、この国の最高責任者の佐藤栄作首相に抗議する事件が起こった日である。しかも、私が生まれた沖縄のためでもあった。事件というのは、首相官邸前における一人の老人の焼身自殺。老人は弁理士でエスペランチストの由比忠之進さん。享年73歳。首相官邸前でガソリンをかぶり、自らの手で火をつけたのである。それは、政治資金規正法、ベトナム戦争、沖縄問題に対する佐藤首相の政治姿勢に怒った、まさに“死の抗議”だった。焼身自殺は、ベトナムの僧侶などが行っていた抗議手段だったが、この日本で発生したことに多くの国民がショックを受けた。」

「それは44年前のことだが、由比さんが自らの命を賭して告発した内容は、今も変わっていない。抗議した焼身自殺の動機は次の四つに要約できる。

- 1) 政治資金規正法を自民党の圧力に屈して骨抜きにされたことに対する政治への不信感
- 2) 沖縄・小笠原諸島の返還をめぐる佐藤首相の弱腰な対米追従の政治姿勢
- 3) ベトナム反戦運動に耳を貸さず、米国のベトナム戦争に加担する佐藤政権
- 4) アジアでのわが国の役割を自覚しない政治家たち

なお、本書は下記において、ご注文いただけます。

(B6判 402頁, 1800円)

日本エスペラント学会

162-0042 東京都新宿区早稲田町 12-3

電話：03-3203-4581、ファクス：03-3203-4582

メール：esperanto@jei.or.jp

お近く的一般書店からも新星出版（地方小出版流通センター扱い）へご注文が可能です。

Ĉu "hotaru" (螢) estas "lampiro" ?

HOŠIDA Acuŝi

Longe en vortaroj Esp.-Japana kaj Japana-Esperanta oni kutimis uzi la vorton "lampiro" por japanalingva "hotaru-螢", vaste amata lum-insekto fluganta somere. Lastatempe oni rimarkis problemon pri tiu kompreno.

ながいこと「ホタル=螢」は lampiro とされていましたが、その理解に問題があることが指摘されていますので、すこし点検してみましょう。

日本語エスペラント辞典（宮本正男編）では

> ホタル [虫] lampiro. [ゲンジボタル] luciolo.

> ~の光 lampira lumeto.

だから ゲンジボタルには別の名もあるが、ホタルの総称は lampiro のように見える。では エスペラント日本語辞典 (JEI) ではどうか。

> lampiro [虫] ツチボタル (属)、カラフトボタル (属) ; 螢

> luciolo [虫] ゲンジボタル (属の総称) (ヘイケボタルもこの属)

と なっている。lampiro の最後に「螢」という訳語があるから使えそうだが、日本で見るとホタルはゲンジボタル、ヘイケボタルが大部分だから luciolo のほうが適当か、とも思われる。

2006年にこの辞典が出るまで40年間愛用されてきたエスペラント小辞典（三宅史平編、大学書林）ではどうだったか。

> lampiro [虫] (つち) ほたる.

> luciolo [虫] ほたる (の一種)

と なっていて どう違うのか、何を指しているのか、どうもよくわからぬ。

こうなると外国 (ヨーロッパ) でどう定義しているか、確かめるしかない。PIV (PLENA ILUSTRITA VORTARO DE ESPERANTO) 2002年版では次の通り。ていねいな説明で、少し長い。

> lampiro: G. de insektoj el la ordo de kleopteroj, havantaj

> lumantajn organojn sur la abdomeno; la ino, senflugila,

> pli lumanta ol la larvo kaj virbesto, estas nomata lumvermo.

lampiro の雌は羽がなく、雄よりもよく光って 光る vermo (なが虫、うじ、いもむし状のもの) と呼ばれる。日本の螢とは全然違いますね。ニュージーラン

ドのワイトモ洞窟で観光客に見せる「つちぼたる」が これでしょう。

- > luciolo: G. de insektoj el la ordo de kleopteroj, portantaj
- > lumantajn organojn, vivantaj en S. Eŭropo; tre parencaj al
- > lampiroj, sed ambaŭ ino kaj virbesto estas flugilhavaj
- > kaj tre lumantaj.

一方 luciolo は雄も雌も羽があって飛び、よく光るという。日本のほたる（ゲンジ、ヘイケなど）はこれですね。

以上の私の意見に対して「エスペラント日本語辞典」、「日本語エスペラント辞典」で動物の専門用語を担当した方から次のような反省と意見が寄せられました。

- > 星田さんのご意見は大筋で妥当だと思います。
- > 「エスペラント日本語辞典」では
- > lampiro 【虫】 ツチボタル(属) カラフトボタル; 蛍 (ほたる)
- > としています。このように少しぼやけた日本語訳を付けたのは責任者の
- > 私が新撰エスと辞典の呪縛から離れきらなかったためです。
- > 日本で「ほたる」と呼んでいる発光昆虫は有名なものではゲンジボタルと
- > ヘイケボタルの二種があり、両方とも分類学的には同じLuciola 属です。
- > 普通はこの両者を区別してはいないと思いますから、「ボタル」の
- > エスペラント訳としては「luciolo」で充分といえるでしょう。
- > ただ、ゲンジボタルは体長12-18mm。ヘイケボタルは体長
- > 7-10mmと大きさが明らかに違うので、両者を区別しないと
- > 不満が残る場合もあるかもしれません。
- > そんなときはゲンジボタルはluciolo、ヘイケボタルはeta luciolo
- > としては如何でしょうか。lampiro は蛍狩りの対象として居る「蛍」
- > とは分類学上属も異なりますし、生態も異なるので「蛍」の意味に
- > 使うのは止めにすべきです。
- > 日本語エスペラント辞典(宮本正男編、1983年発行)においても、
- > ほたる[虫]lampiro(ゲンジボタル)lucioloと云う記述をもっと
- > 明確にlucioloを前面に出す形にして置けばよかったと思います。
- > この頃は、宮本さんから時々来る質問に答えるだけでした。
- > その中に「ほたる」のことがあったか無かったか、今となっては
- > 思い出せません。いずれにせよ、この辞書に、関係したものとして
- > 十分な責任を果たして居なかったと反省しています。

*Eskalo 第 142号(2011 年第 4号)、2011年11月16日、川崎E. 会、B5 X8 頁のうちE.文3頁。トップ記事は10月の日韓共同大会での「なつかしい友との再会、新しい友との出会い／北川郁子」、など。

*Novajoj Tamtamas: Internacia Gazeto de Jokohama Esperanto-Rondo (JER, Hama-Rondo); N-ro 265/novembro 2011, A4X4 頁、全文E. NIAJ PLANOJ(行事予定)に続いて共同大会報告や ESEJO/Blanka rozo/KOYAMA Takesi など。Blanka rozo は70年前のナチスに対して抵抗し逮捕処刑されたミュンヘン大学の学生抵抗組織の名。Tetrinkejo ĉe montokolo/AIDA Kiyoshi 訳 (小川未明の峠の茶屋) は連載4回目で終わった。

* NOVA VOJO : N-ro 478 NOVEMBRO 2011, EPA (エスペラント普及会)、A5 X34頁のうちE.文6頁。日韓共同大会関係の記事は6頁が日本文、写真はE.説明付、日本語説明つき各1頁。

*Ponteto/ (Bulteno de Esperanto-Ligo en Regiono Kantoo: 関東エスペラント連盟)/Novembro 2011 N-ro 249 B5 X20頁のうちE文4頁はベトナムの Nguyen Thi Phuong の日本旅日記。

「シベリア出兵時極東ロシアのエスペ

ラント小話／佐々木照央」は Julio Baghy の La Verda Koro に出ている当時シベリアの捕虜収容所にいたオーストリー・ハンガリー帝国側の兵士とロシア人エスペランチスト、日本軍艦肥前の Kapitano Oba との交流などを歴史的に確かめたい、と述べる。日本からのエスペラント発信のトップ、堀泰雄の本2冊、「世界の旅人堀さんのエスペラント気ままエッセー」と Tertrema Katastrofo de Japanio 2011 Taglibro の出来たいきさつ。

*La Tamtamo: 第437号, 2011年11月号, A4X8頁、横浜エスペラント会/JER 発行、日本文。ザメンホフ祭など年内の予定と日韓共同大会などの報告。

*Mejlŝtono:2011 novembro N-ro 228 仙台E会 : B5X 8頁中E.文3頁半は : 仙台E会の東日本災害援助受領 (JEI から12万円)、日韓共同大会、被災地福島での第52回東北E大会 (不在参加含めて78人参加)、など。

*La Informilo de NEC/センター通信 第265号 2011年11月21日 名古屋エスペラントセンター発行、電子受信、A4 X6頁のうちE.文2頁半、うち大部分は昨年の 95-a UK(Habana)で発表された MAJAA KAL(AL?)ENDARO. マヤ暦によると2012年は終末との予言、ただし

別の見解もあるという。

*受講生通信 第139号, 2011-12-01, 沼津エスペラント会, B5X12 頁の内E. 文半頁。受講生からの多様の報告、通信がおもしろい。来年の日本E大会 (10月、札幌) と国際青年E大会 (8月、天理) のチラシ同封。

*La Suno N-ro 95, 山梨エスペラント会, 2011年12月11日、B5 X20頁の内E. (エスペラント) 文4頁半。巻頭に詳細な山梨E. 会年間活動記録。「第96回世界E. 大会参加記/工藤尚」、「Komuna E. -Kongreso --/Hikita Akio」はその人なりの大会の楽しみ方を見せてくれる。

*NOVA VOJO: N-ro 479 DECEMBRO 2011, EPA, A5 X32 頁の内E. 文3頁。巻頭言「E. 運動と世界連邦運動 --/稲垣裕彦」では2002年の世界連邦世界大会で「世界連邦主義者はE. を学ぼう」と決議した、と。日韓合同E. 大会の参加者感想が7頁。会員名簿に中田実、浜口佳壽子さんの名。

*La Movado; 関西エスペラント連盟 (KLEG) 発行, N-ro 730 decembro 2011, B5X16 頁のうちE. 文3頁半。

Kajero Libervola (OSIOKA Taeko) は Kopenhaga UK での遭難(?) 体験。10月の韓国での共同大会、青年合宿(KS) やキエフでの青年大会(IJK) 記事などが2頁半。沖縄から初めて(?) のエス

ペラント会発足の記事と由比忠之進の伝記紹介 (星田、峰)

*Novajoj Tamtamas: JER(Hama-Rondo) N-ro 266/decembro 2011, A4X4頁、全文E. Rakontas Paperlanterno はエロシェンコ原作の日本語文 (提灯の話) を7人で分担してE. 訳したものの。

*La Tamtamo: 第438号, 2011年12月号, A4X8頁、横浜エスペラント会/JER 発行、日本文。11月ハマロンダ・ベスペーロは Stereografio (立体写真)。「E. の16か条文法とは/柴山純一」は第4回。

*La Vulkano; N-ro 165 Decembro 2011; LA ORGANO DE HUKUOKA ESPERANTO-SOCIETO. B5 X8 頁のうちE. 文1頁。巻頭写真の下に「第97回日本大会 --/水川尚美」とあるが続く記事は第85回九州大会 (5月、福岡県福津) らしい。Raportoj kaj sciigoj には2010年以來の行事が色あざやかなカラー写真入りで続いている。最後に訃報「西田光徳会長11月25日、84才」Ve!

*La Movado; KLEG 発行, N-ro 731 januaro 2012, B5X20 頁のうちE. 文6頁半。Kio okazis al mi en Danio/ OSIOKA Taeko(2) に支払い窓口のないデンマークの病院。医療は無料! 巻頭記事は来年の世界大会に備えるベトナムの Nguyen Thi Phuong の文。「ウクライナでの交通事故体験/あら

いとしのぶ」連載開始。「対訳 列車／太宰治／La Trajno/trad. KONISI」はこの号（4回目）で終わり。

* NOVA VOJO: N-ro 460 JANUARO 2011, EPA, A5 X34 頁の内E.文6頁。支部・代議員活動報告に苫小牧支部と北海支部からの記事。

*Ponteto/関東エスペラント連盟)/Januaro 2012 N-ro 250, B5 X16頁のうちE文4頁半のうち4頁は連載第1回の Letero de Tigro(1) Reciproka lernado kaj klera ligo inter Ĉinio kaj Japanio/Bill Mak は日中相互理解の問題点をエスペランチストの眼で分析した内容。続く頁には去年の日韓共同大会での合唱の写真と指揮者牧野三男の「今年もE.の歌が多くの人たちに安らぎと希望を与えてくれますように」

*La Tamtamo: 第439号, 2012年1月号, A4X8頁, JER 発行, 日本文。「お知らせ」に「エスペラント発表 125年」、今年は 4\5世紀の記念の年！第85回読書会報告は Ivo Lapenna の Elektitaj proladoj kaj prelegoj について。UEA がエスペラントを国際舞台に押し出した最大の成果は1954年のモンテビデオ決議にはじまるユネスコとの協力関係だが、この決議実現に決

定的な効果を上げた Lapennaの活動や考え方の分析は興味深い。

*Novajoj Tamtamas: JER(Hama-Rondo) N-ro 267/januaro 2012, A4X4 頁、全文E. TIEL OKAZIS EN LA ZAMENHOFA FESTO は12月の「かながわザメンホフ祭」の報告。お互いの理解と交流のため平均10分のミニ講演に8人出場、内4人は日韓共同大会関連の話。ほかにはJEI の組織変更の話、宮沢賢治の詩の朗読、Esperanto - espero por vivi en la senespera mondo (希望のない世界に生きる希望—エスペラント)、など。

*Al Vi Kara; N-ro 102, januaro 2012, Kioto-Esperanto-Societo, B5X 28頁のうちE.文11頁。「アメリカ人の私が、エスペラントと出会って／スコット・パークス」：ひと夏インターネットでエスペラントを勉強したら大学で3年学んだ日本語と同じレベルになっていて、日本語への努力が認められなかったような気がして悔しく感じた、という。茶谷忠夫は「エスペラントとの出会い」は由比忠之進の焼身の新聞記事だった、と書く。連載2回目の京都観光案内/Turismaj informoj pri Kioto は金閣寺、龍安寺、太秦映画村、嵐山。

Protokolo de la 2-a Komitato Kunsido de HEL

北海道エスペラント連盟 第2回委員会議事録

日時：2011年11月6日（日）15:30～17:00

場所：札幌エルプラザ 札幌市市民活動サポートセンター 消費者サロン1

出席者：横山（司会）、星田、後藤（純）、後藤（義）、阿部、山下、小渕、末永、川合（記録）、犬丸（オブザーバー）

<組織>

犬丸氏（JEI 組織部長）より、JEI の財団法人改革・新法人移行およびそれに伴う「団体会員制度」の説明があった。HEL は「地域団体」になるのが妥当、と委員会での話はまとまるが、HEL 自体のあり方に関わる問題であるため、連盟員全員の意味確認を要する。2012年1月発行の「Heroldo de HEL」にJEI の「La Revuo Orienta」の記事コピーとHEL 委員会の考えを掲載し、返信用葉書を同封して事務局宛てに返送してもらおう、という案に到着する。

<広報>

- ・ホームページへのアクセス数は横ばい。
- ・HEL ホームページにJEK のページを新設した。内容をより豊かにするため、掲載すべき材料を募集する。
- ・メールマガジンは10月22日に第151号を発行。部数は476部で横ばい。

<マスコミ>

・星田さんの「少年が見た戦争」の講演会の記事が「朝日新聞」に出た。演者紹介に「元北海道エスペラント連盟委員長」とあった。

<機関誌>

「Heroldo de HEL」第138号は90部発行。行間を空けて読みやすくした。

<年間計画>

来年の北海道大会：JEK 終了後1日だけ開催とする。10月28日（日）と予定。

<次回委員会> 2012年1月21日（土）

Protokolo de la 10a Kunsido de Loka Kongreso Komitato por
la 99a Japana Esperanto-Kongreso

第99回日本エスペラント大会LKK 第10回会合議事録

日時：2011年11月6日（日）13:00～15:30

場所：札幌エルプラザ 市民活動サポートセンター 消費者サロン1

出席者：（司会）星田、（記録）川合、（KKS）犬丸、後藤（純）、後藤（義）、阿部、横山、（オブザーバー）山下・小渕・末永

<JEI 会員への案内資料>

- ・RO「大会便り」・・・毎月（締め切りは前月上旬）
- ・La Dua Informilo・・・2月号（締め切りは1月上旬）
- ・La Tria Informilo・・・7月号（締め切りは6月上旬）
- ・直前案内・・・8月末

<後援依頼>

道などへの依頼では、一般公開番組が必要。大会講演と入門講座がそれに当たる。当座、概要だけでよいので決める必要がある。（←未定）予算書が必要。

（←未定）

<番組>

★大会講演（石城謙吉氏）

- ・演題変更の予定。次のLa Dua Informiloまでに確定のこと。（→星田担当）
- ・E版レジュメを作成配布する。作成は道外のE-istoに頼んでもよい（犬丸）。公開番組とする。

★E 入門講座（公開番組）

講師は道外のE-isto（Ekz. 都区内E会）も可（犬丸）。

希望：外国人の講師もいてほしい（山下ほか）。

★アイヌ語概要・・・進行：横山

講師を切替英雄氏に打診する。（→その後、お手紙で打診しましたが、丁寧なお断りのお手紙をいただきました。横山）

★記念出版関連番組：『よみがえれ、えりもの森』を掘り下げる

進行：後藤（純）（?）

NHK「プロジェクトX」2001年3月、「えりも岬に春を呼べ」が放映された。このDVDを後藤（純）委員が入手済み。DVDを上映し、『よみがえれ、えりもの森』を選んだ経緯、共同翻訳の経過、翻訳参加者の話などをまとめて話す。（→星田担当?）この絵本は2005年青少年読書感想文全国コンクールの課題図書になった。当時の学校現場での課題図書の扱いについて話す。（→後藤（純）担当?）

★開会式後のアイヌ古式舞踊・・・進行：横山

・萱野志朗氏の関係者で、10人程度、20～30分で総計22万円の見積り→この計画に決定。
・控え室が必要。ホールの楽屋を使えるか、要確認。

★Interkona Vespero・・・進行：未定

- ・「グループ」のつくりかたとして、くじ引きを複数回してはどうか（多数意見）
- ・ゲームや司会については蒲池富美子氏（スカウトE 連盟日本支部）にお願いしたい（後藤純）。（→犬丸担当）
- ・出しもの案：北海盆歌（?）、オークション（田平正子氏）、E 落語（?）

★シンポジウム

（※シンポという名称・位置づけにとらわれなくてもよい。他の番組との兼ね合いもある（犬丸））

テーマ「北海道開拓の光と影」（仮称）は、承認。

基調講演者（開拓記念館学芸員）に横山委員が交渉。内容は未定だが出演は承諾された。アイヌ語に少しでも言及してもらうことでEに関連付けたい。

★その他番組

第一書から125年、第100回JEK（2013年）といったことにからめた番組は考えられないか？（犬丸）→未定

<シンボルマーク、シンボルカラー>

・後藤（義）委員によるシンボルマークはJPG 化済み。これの電子化を坂本規恵氏（岡山）に依頼する。（→犬丸担当）

・シンボルカラー（Informilo 等）は、「若草」

・記念切手は正方形の図柄であることが必要と判明。後藤（義）委員によるHEL案内パンフ（三つ折）の裏面（シマフクロウ、ハマナス）を使用することにする。長方形の図案は絵葉書（500枚作成と決定）に流用する。

・記念スタンプについて、前川治哉氏（兵庫）が暖かくなったら来札して下さる（後藤（純））。

<バンケード>交渉・・・阿部

- ・KKRで開催と決定。宴会用円卓使用、150人まで。
- ・菜食主義者のテーブルを決め、KKR側に配慮をお願いします。

<弁当>交渉・・・阿部

- ・もう少し申込み人数がはっきりしてから決めたい。
- ・ゴミの処理が必要。

<観光>進行・・・後藤（義）

・添乗員なし、120名の仮定条件で2社から見積りがとれた（後藤（義）、資料配布）。・和歌山・山梨・長崎の例からいって、参加者は数十名と見込まれる（犬丸）。今後、40～50名（バス1台）の見当で考える（バス代、宿の程度などがかなり変わってくる）。

・案内人（cicerono）がしっかりしていれば、現地案内人は不要（後藤（義））。
→前回検討課題となった岡田弘氏（火山学）や地元有償ボランティアへの依頼はしない（決定）。

→cicerono予習用に本を購入する。（→後藤（義）担当）

・復路に千歳「サケのふるさと館」に寄ることを検討。

<札幌観光案内>

ものはできかかっている（星田）。

<環境関連E語彙集の作成>

大会テーマに即して、環境関連のE語彙集を全国のE-istoに呼びかけて作成することに決定。

全国対象メーリングリスト「ERAJ」で協力者を募る。（→川合担当）

<ホームページ>作成・・・横山

・ホテルリストに加えて、会場を中心とした地図が欲しい（犬丸）。（→横山担当）

・ホテルリストに身障者（車椅子）対応の有無の情報が欲しい。横山さんから配られたホテルリストをマズプリしてR0に挟み込む（犬丸）。

<国外からの参加>交渉・・・星田

ウラジオストクのロンド「Pacifiko」から候補2名を考えている（星田）。

参加費・宿泊費・バンケードはJEI負担（決定）。

旅費はJEIのアジアからの来訪者に対する助成（Fondajo de Azio）を受けたい。

参加者には大会中に、Eでなにがしかの話をしてもらうことを条件とする。

<会場>交渉・・・後藤（純）

・部屋は順調に確保されている。

・プロジェクターは「かでる」で借りられるか？

（※後日、10月7日午後・10月8日午前に各1台予約（阿部））

<記念写真>担当・・・未定

いつ、どうやって撮影するか、会場設備とあわせて検討する必要がある。

<大会合唱>担当・・・川合（？）

曲は「時計台の鐘」(E版すでにあり)と決定。

2部合唱への編曲を牧野三男氏(神奈川)、大会中の練習指導を山田義氏(愛知)に依頼する。

<LKK 連絡体制>

050FAXには、メールを発信した人が送信することを原則にする(決定)。

<次回LKK 会合>

日時:2012年1月21日(土) 13:00~

場所:札幌エルプラザ(部屋未定)

[編集後記/Redaktanto parolas ...]

*印刷日を勘違い、編集、版下作りを1日でやっつけ— エラったらご免!

*比嘉さんが本を出す気になったのは(6頁)沖縄のために身を捨てる本土人がいた」とショックを受けたから、とのこと。由比さん逝って44年。

北海道エスペラント連盟 会費/年

正会員 3000円、青年会員(26歳未満) 1500円、

購読会員 2000円、家族会員 1000円

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

*Redaktas la Organo Fakto de HEL
ĉe HOŝIDA Acuŝi

Miyanomori 2-18-18, TOMAKOMAI
053-0844 JAPANIO

TEL-FAKS:0144-74-2539

Retadreso:hosidaacusi@kir.biglobe.ne.jp

*Sekretario: KAWAI Yuka

N-ro 45, Simin-Katudo-Sapoto-Senta

Sapporo L-Plaza 2F, Kita 8 Nisi 3

Kita-ku, Sapporo, 060-0808 Japanio

TEL-FAKS:0126-62-4636

Retadreso: nordano@sea.plala.or.jp

*TTT-ejo: <http://www5d.biglobe.ne.jp/hel/jp/index-j.htm>

*Postgirkonto(郵便振替):02700-6-17075

北海道エスペラント連盟

*編集:連盟機関誌部

〒053-0844 苫小牧市

宮の森町2丁目18-18

星田 淳 方

*事務局:川合由香

〒060-0808 札幌市北区

北8条西3丁目札幌エルプラザ

市民活動サポートセンター 1階No.45